

○広田地区タウンミーティング議事録(概要)

日 時:令和2年11月15日(日)

午前10時から午前11時15分まで

場 所:広田小学校 体育館

出席者:60人

テーマ1 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり:活力都市創造部

<主な説明事項>

- 1 富山市のまちづくりの基本方針
- 2 総合結節点としての富山駅
- 3 富山駅周辺地区の変遷
- 4 北陸新幹線開業を契機とした富山駅周辺整備
- 5 公共交通の活性化

【活力都市創造部の説明に対する質問】

なし

テーマ2 新たな洪水ハザードマップについて:建設部

<主な説明事項>

- 1 洪水ハザードマップの見方・使い方
- 2 広田地区の浸水想定について
- 3 避難行動について

【建設部の説明に対する質問】

洪水ハザードマップは大河川を主としたハザードマップだと思いましたが、今年に入り、

国の方から、大河川ばかりではなく中小河川についても検討が必要、もしくはそのような検討も始まっているということを聞いています。先ほど、がめ川の話もありましたが、中小河川に対して富山市でも検討する予定はありますか。

また、ここ広田小学校は避難場所になっており、洪水ハザードマップの 1000 年に一度程度想定される最大規模の降雨量による想定では広田小学校は白色になっています。しかし、小学校のすぐ近くに広田用水が流れており、最大規模の降雨量となった場合、広田用水によって浸水する可能性があるように思います。このようなことから、地域の校下ごとの特徴を考えた検討はしていただけるのでしょうか。

(建設部長)

今、お話がありましたように、国の方では、今までは大きな河川の氾濫について対象にしてきましたが、これからは流域という概念で考えていこうということになりました。

簡単に申し上げますと、大河川には、そこに枝線の河川が入ってきています。そのような流域単位で考えていくと、中小河川もその対象になってきます。そういった流域を総合的に考えて、浸水被害を軽減するためにどうしていけばいいのか、今後、考えていかなければならないと思っています。

国も指針を打ち出したばかりであり、それに対しての補助金を市の方にも出していただけのお話もいただいておりますので、国の指針に沿って、我々も流域の治水計画について着手したいと考えているところであります。

過去に広田校下ではどのような水害があったのか教えていただければ、もう少しハザードマップということについて身近に感じられるのではないかなと思います。

(建設部長)

私も係長時代は河川の担当をしておりまして、この地域にも何回か入らせていただいたことがあります。

特に下富居地域ですが、そこに池があり調整池の役割をさせていますが、調整池を作っても、あのあたり一帯の団地の横に浸水被害があるということは把握しています。そ

この点だけで申し上げますと、下富居の調整池関係の浸水対策をするために、今、計画を作り、調査しているところであります。

それともう一つは、鍋田の操作場跡地のところが、県の方で開発することになりましたが、その水が全部こちらの方に流れてきますので、その影響により浸水被害が及ばないような対策をしていこうと思っております。

また、がめ川近辺でも浸水被害があったことを記憶しておりますが、市では、今までの浸水履歴を資料として残しておりますので、それを見て、対策を練っていきたいと考えております。

テーマ3 富山市の主要教育施策について:教育委員会

<主な説明事項>

- 1 教育委員会とは
- 2 富山市の教育目標
- 3 学校教育の充実
- 4 社会教育の充実

【教育委員会の説明に対する質問】

なし

【その他意見交換】

なし

※発言の一部を整理して掲載しています(広報課)